



自然とともにある城

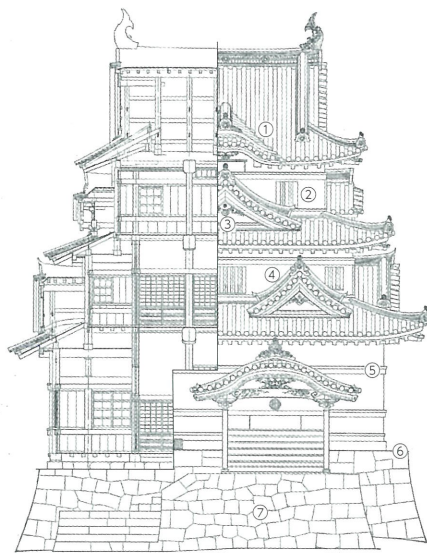
“伊達十萬石の城下町”と呼ばれ、江戸時代から四国西南地域の中心として発展してきた宇和島市は、日本屈指のリアス式海岸地帯にあります。城はその最深部、現市街地のほぼ中央に鎮座し、慶長元（1596）～6（1601）年の藤堂高虎創建時には大半が海に面する地形を巧みに活かした縄張となっていました。石垣や天守、櫓は、慶長20（1615）年に入部した伊達家により修築されていきますが、基本的な城構えは高虎時代のものを踏襲していました。

現在、堀は全て埋められ、三之丸をはじめ総郭部分約28万㎡は失われてしまいましたが、本丸・二之丸等の郭を含む約10万㎡の城山は、国史跡（昭和12年）に、現存12天守の1つに数えられる天守は国重要文化財（昭和9年）、そして南側登城口城門の上り立ち門は市指定文化財（昭和38年）に指定されています。

また城山には450種の草木が生い茂り、苔むした石垣群と織り成す幽玄の美の世界は、一見の価値があります。



華麗さと格式を併せ持つ天守



● 高さ：15.72m（礎石～大棟）
● 面積：212.75㎡（1階軒面積）
① 軒唐破風 ② 武者窓 ③ 懸魚 ④ 千鳥破風
⑤ 長押（なげし） ⑥ 犬走 ⑦ 天守台

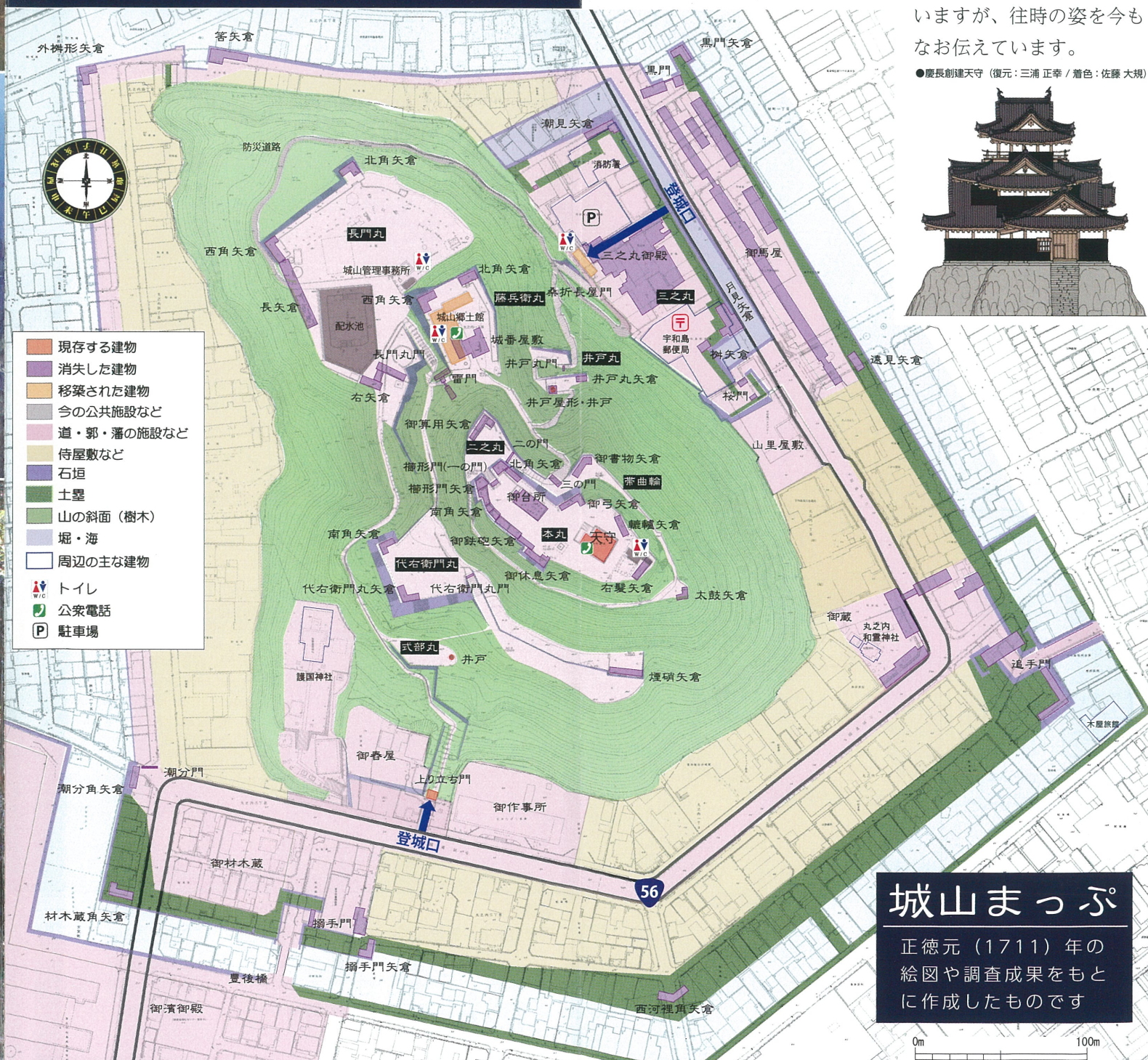
藤堂高虎が創建したとされる望楼型天守を、宇和島伊達家2代宗利が寛文6（1666）年頃に、3重3階総塗籠式、層塔型に再建したものが現在の天守です。

各階の装飾性の高い破風や懸魚などから太平の世を象徴するものとして評されるとともに、小さいながらも御殿建築の意匠が随所に見られ、非常に格式を重んじた造りとなっています。

万延元（1860）年、昭和35年に大修理を受けていますが、往時の姿を今もなお伝えています。



● 慶長創建天守（復元：三浦正幸／着色：佐藤大規）



城山まっぷ

正徳元（1711）年の絵図や調査成果をもとに作成したものです



上り立ち門

城山南側の勝手道口に位置し、武家の正門とされる薬医門形式となっています。現存する薬医門としては、最大級であるだけでなく創建年代が最古の慶長期まで遡る可能性を秘めた、貴重な建造物です。

山里倉庫（城山郷土館）

弘化2（1845）年、三之丸に建てられた武器庫で、現存例の少ない稀少な建物です。昭和41年、伊達家より譲渡され、城山内に移築、城山郷土館として一般公開し、城や伊達家ゆかりの資料を展示しています。

藩老桑折氏武家長屋門

城山東北側の登城口に位置する長屋門です。家老桑折家屋敷地に残されていたものを、昭和27年桑折家より譲渡を受け、現位置に移築、長屋の一部は失われていますが、市内には数少ない武家屋敷の建造物です。

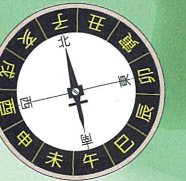
保存整備事業

平成6年から着手した宇和島城の平成普請。現在は、本丸や式部丸などの傷みの認められる石垣について、調査を行いながら修理しています。その調査から知られざる宇和島城の姿が明らかになってきています。

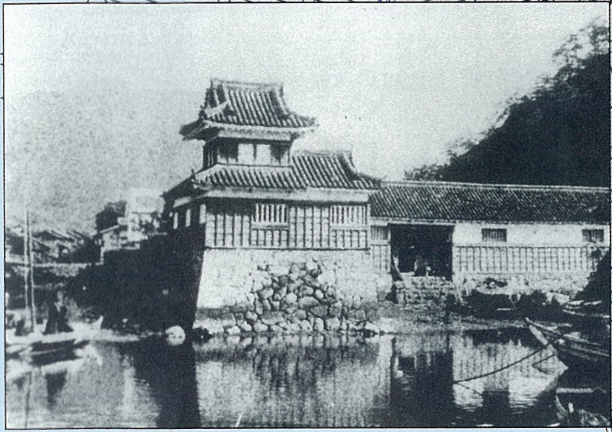


名称	開城・開館時間	料金	定休日
宇和島城（城山）	4月～9月：6:00～18:30 10月～3月：6:00～17:00	無料	無休
天守	3月～10月：9:00～17:00 11月～2月：9:00～16:00	200円	
郷土館		無料	

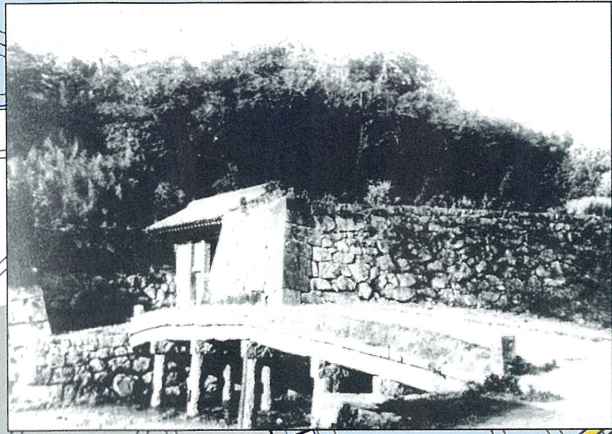
- 宇和島市教育委員会 文化・スポーツ課
[Tel] 0895-49-7033(直通) [Mail] bunka@city.uwajima.lg.jp
[URL] <http://www.city.uwajima.ehime.jp>
〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地
- 宇和島市観光協会
[Tel] 0895-22-3934 [URL] <http://www.uwajima.org>
〒798-0006 愛媛県宇和島市弁天町1丁目318-16



あうて 追手門 (明治初年撮影)



黒門・黒門矢倉 (明治年間撮影)



からめて 搦手門と豊後橋 (明治年間撮影)

お城下まっぷ
安政・文久頃 (幕末) の絵
図や現在の市街図をもとに
作成したものです

横書き
現在の地名や施設など。

道・郭・藩の施設	侍屋敷
門・矢倉等	町屋
土塁	集落
寺・神社	水田 (埋立地)
墓地	海・川

縦書き
江戸時代の絵
図に記載され
た地名や、幕
末にゆかりの
ある史跡など。

0m 50m 100m 200m

- 記念スタンプ (天守) はこちらへ -



お城山と牛鬼 〈兵頭俊朗〉

うしおに
くうしょうにん・ぶうやれ

南予地方のお祭りで御輿の先導をつとめ、お旅所への道を清める邪気払いの練り物です。

大人30～40人でかつぐ物や子供用の物など大きき色などさまざまですが、頭は鬼、胴は牛、尾は剣で、道を蛇行しながらブオーブオーと竹螺（たけぼら）を吹き鳴らし軒々に恐ろしげな頭を突っ込み邪悪な物を払います。

尚、南予地方では、恐ろしい物、あるいは、恐ろしいけれど愛嬌のある物、派手な物の代名詞にも使われます。



う わ しま じょう つるしま じょう

宇和島城〈鶴島城〉天守（重要文化財）城跡（史跡）

宇和島城は湾頭の丘陵に築かれた平山城で、慶長年間、藤堂高虎によって築城され、寛文2年から5年にかけて伊達宗利により大改修されたものである。

天守は独立式で3層3階本瓦葺、白壁の総塗ごめ造りで荘重である。正面最上層の屋根に唐破風、二層に大型の千鳥破風、その下に二つの千鳥破風を並べ、最下層にこれらの総てを受けた玄関に大型の唐破風がある。これらは各層の屋根とよく調和して、美しい姿と安定感をもち、江戸時代初期の貴重な天守となっている。なお、上り立ち門(市指定)や、二の丸・藤兵衛丸・長門丸・代右衛門丸などの石垣遺構もよく保存されている。